

平成 26 年度 事業計画書

公益社団法人 日本河川協会

自 平成 26 年 4 月 1 日
至 平成 27 年 3 月 31 日

情報交換・情報共有の場づくり及びそれを通じた調査、資料収集、河川関係社会貢献団体等への支援、現場担当者等への支援を3つの大きな柱として、より一層の内容の充実を図るとともに、新たな事業展開に努めます。また、都道府県及び職域組織の設立、サークル活動の充実、全国各地の協会会員活動の活性化等への支援を行います。

これらの活動を通じて、人と河川の関わり方としての河川文化の発展に寄与し、趣旨に賛同する個人、法人、団体、学会、行政等とのネットワーク拡大を図ります。

また、公益目的事業に寄附をしていただいた個人の方々には寄附金の所得控除が可能となりましたが、今後、税額控除も可能となるよう寄附者の方々の拡大等に努め多くの方々のご賛同とご支援をいただき、公益目的事業の一層の充実を図ってまいります。

1 河川に関する新たな知見や情報などの調査・資料収集を行い、広く一般に成果を公表する事業【調査事業】

【河川に関する意見交換及び交流の場を通じた調査、資料収集】

(1) 河川文化を語る会の開催

「河川文化を語る会」を東京のほか各地で開催します。また、内容を充実させ意見交換及び交流の場としての機能を高めます。

講演及び会場における意見交換の内容をとりまとめ「講演集」として刊行し、広く活用されるよう努めます。



河川文化を語る会講演集

(2) 地球温暖化適応策に関する調査、資料収集

◆◆「地球温暖化適応策に関する収集資料リスト」◆◆

【平成25年度収集資料】	
No.1301	「15ヶ国に見える事業群が一つのプロジェクトであることを示しているルイジアナ海岸保全2014年度事業計画」
発行者	The Coastal Protection and Restoration Authority of Louisiana
表題	Integrated Ecosystem Restoration & Hurricane Protection in Coastal Louisiana - Fiscal Year 2014 Annual Plan
掲載雑誌名等	
発表時期	2013/3/27
その他	
メール添付内容	無料で入手可能なURLをメールに記載させていただきます
No.1302	日本の気候変動とその影響 2012年度版
発行者	文部科学省、気象庁、環境省
表題	気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート「日本の気候変動とその影響」(2012年度版)
掲載雑誌名等	
発表時期	2012/4/12
その他	
メール添付内容	無料で入手可能なURLをメールに記載させていただきます
No.1303	一連の政策をパッケージとして取りまとめたEUの適応戦略
発行者	European Commission
表題	An EU Strategy on adaptation to climate change
掲載雑誌名等	
発表時期	2012/4/16
その他	
メール添付内容	無料で入手可能なURLをメールに記載させていただきます

主な収集文献のリストを
ホームページでお知らせしています

地球温暖化適応策に関する基礎的な資料収集を行うと共に、日本学術会議や学会等における水災害適応策に関する活動に参画します。

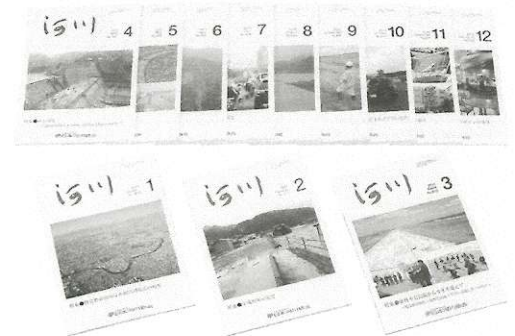
また、個別地域において、分野横断的な研究者はもとより、行政、企業、個人、NPOなど、適応策の研究者・実行者間の意見交換及び交流の場づくりを行います。さらに、各地域間で情報交換・情報共有ができるような場を設け、相互に認識を深めるための支援を継続します。

【河川に関する情報の提供及び知識の普及のための調査、資料収集】

(3) 雑誌「河川」の発刊

雑誌「河川」（月刊）は昭和初期から現在までの、その時々の河川事業・河川行政の歴史や社会の変遷を知る貴重な資料として、行政関係者、研究者、学生、一般の方などに広く活用され、高い評価を得ています。

さらに内容の充実を図るとともに、活用促進策の検討を進めます。



雑誌「河川」

- ・平成26年「特集テーマ」（予定）

「平成26年度予算」（4月）、「伝わる」広報（5月）、土砂災害対策の歴史的経緯と展望（6月）、7月以降は未定

(4) 河川情報の資料収集・解析

平成23・24年の雨量・流量年表及び2009年の日本河川水質年鑑の資料を収集し、解析・整理してその結果を公表します。

また、河川に関する諸々情報を収集・整理し、データベース化を図り情報の発信に努めます。



雨量・流量年表、水質年鑑

【安全かつ快適で自然豊かな河川を実現するための調査、資料収集】

(5) 河道及び河川インフラ評価技術に関する調査、資料収集

温暖化影響の進展等、昨今の状況下では「管理するための技術」の確立が強く求められています。このため、河道や河川インフラの評価技術について、他の河川関係の法人とも協力して調査・研究を行います。

(6) 河川行政史に関する調査

河川行政史等についてインタビュー・編集を実施し、広く普及を図ります。

本年度は「水防災事業」をテーマに、制度の立案や事業実施の関係者にインタビューを実施し、その経過を記録します。



(7) 川や水に関わる活動団体の調査

川や水に関わる活動団体及び活動状況等を把握し、その結果をホームページで公開します。

また、活動の活性化のための情報発信方策等についても検討します。



登録された川や水の活動団体の名称や活動内容等をホームページでご覧いただけます

- 2 河川関連キャンペーン（「川の日」キャンペーン、日本水大賞、水防演習、河川愛護月間、水の週間等）への参画及び支援を行い、安全かつ快適で自然豊かな河川を実現するための啓発活動を広く一般に向けて行う事業【キャンペーン事業】

(1) 「川の日」キャンペーン

「川の日」実行委員会が実施する「川の日」記念行事を事務局として支援します。

昨年に引き続き、「川の日」の7月7日頃に、商用のWebサイトにバナーを掲載し、これにリンクして様々なコンテンツを広く一般に提供、また、他団体との連携を図るとともに、冊子等を制作・配布するなど「川の日」の啓発を図ります。



冊子

(2) 水防演習に参画

全国の会員の皆様のご賛同とご支援を得て、出水期前の5～6月（水防月間）に各地で開催される水防演習に参画し、一般の方々の水防対策及び防災意識向上のためのキャンペーンを実施します。

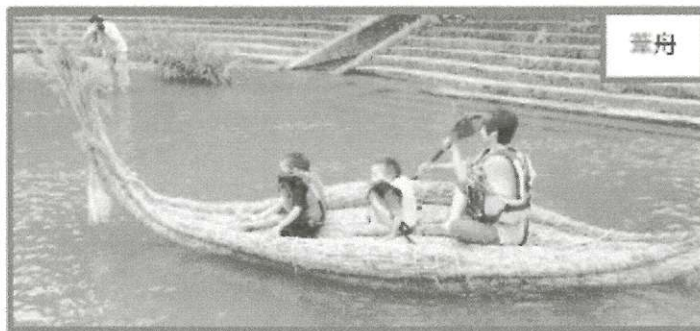
(3) 河川関係キャンペーンに参画

河川愛護月間、水の週間のキャンペーンに参画します。

3 きれいな川、親しめる川と共に暮らすため、川や水辺で活動している河川関係社会貢献活動団体が行っている、水資源確保、河川美化清掃、水質保全などの水環境保全活動資金を、公募・選考を経て、助成を行う事業〔助成事業〕

「きれいな川と暮らそう基金」の助成の実施

ライオン(株)から寄附を受け、「きれいな川と暮らそう基金」の助成を継続します。公募によって学校やサークル、市民団体などから申請のあった活動について、審査部会により審査・選考を実施し、助成先及び助成額を決定します。



植物の「葦（あし）」で作った舟の乗船体験

また、助成した団体名・内容等のほか、活動報告の内容について公表します。

なお、平成27年度の募集は、平成26年7月7日から11月30日の期間で実施します。

4 河川に関するセミナー、シンポジウム、研修等の開催及び支援により、専門的知識の普及や人材育成を行う事業 [研修・セミナー事業]

(1) セミナーの開催

水防に関する制度・法律等をテーマにした「水防研修」、河川管理・訴訟等をテーマにした「河川管理研修」、河川計画・技術等をテーマにした「河川講習会」を開催し専門的知識の普及を図ります。

また、開催に当たり、ホームページへの掲載等により参加者を広く公募するとともに、関係機関・団体等に対し広報活動を行い周知の徹底を図り参加者の拡大に努めます。

- ・水防研修 平成 26 年 4 月 17 日～18 日 (予定)
- ・河川管理研修 平成 26 年 10 月 9 日～10 日 (予定)
- ・河川講習会 平成 27 年 2 月 5 日～ 6 日 (予定)

(2) 地域研修への支援

地方整備局、都道府県、市町村の河川担当者等の技術力の向上を図るため、各地域が抱えている課題や問題点について、共に学び議論・発表する場を設けた地域河川技術研修の開催を支援します。

5 河川に関する功労者表彰、コンクールの実施及び支援することにより、不特定多数の利益の増進に寄与する諸活動等を顕彰する事業 [表彰・コンクール事業]

(1) 河川功労者表彰の実施

1949 年に創設以来、治水、利水、環境の観点はもとより、歴史・文化、河川愛護、国際貢献、学術研究、地域振興等の観点から、広く社会に対して功績のあった方々や団体を表彰してきました。

平成 26 年も総会において表彰します。

(2) 日本水大賞・日本ストックホルム青少年水大賞

日本水大賞委員会（名誉総裁：秋篠宮殿下）の主催により実施される以下の活動等に対し支援します。

第16回日本水大賞・2014日本ストックホルム青少年水大賞の表彰式及び受賞活動発表会を日本科学未来館で行います。

2014日本ストックホルム青少年水大賞の大賞受賞者を、8月～9月にスウェーデンの首都ストックホルムで開催される国際コンテスト「ストックホルム青少年水大賞」に日本代表として派遣します。

なお、第17回日本水大賞・2015日本ストックホルム青少年水大賞は、「川の日」である7月7日より募集を開始する予定です。

第16回日本水大賞・2014日本ストックホルム青少年水大賞の各賞については、4月上旬に「水大賞委員会」を開催して決定する予定です。



6 河川に関する図書等の刊行等 [収益事業]

(1) 図書の出版等

「河川事業関係例規集 平成26年度版」等を刊行し販売します。
また、「河川ハンドブック」等の刊行について検討します。

(2) 受託調査・研究

河川に関する受託調査・研究を行います。

7 会員活動への助成、会員への情報誌の配布、河川関係諸団体の活動への支援 [会員活動助成等事業]

(1) 会員活動への助成

会員の親睦、交流及びサークル活動をより一層推進させるため、現在15の府県及び職域単位で設立されている会員組織を支援し助成を行うとともに、未設立の都道府県には会員組織の設立を働きかけます。また、会員が各地域において、川をテーマにした自主的な研究や地域活動への参加を行うサークル活動に対して、その経費の一部を助成します。

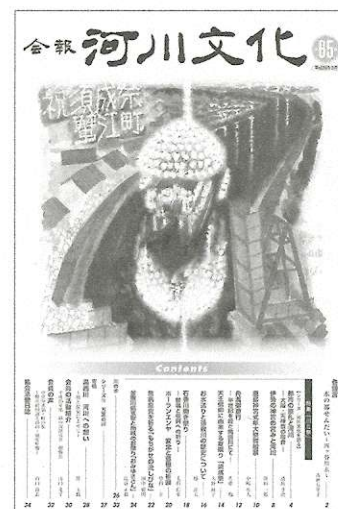
(2) 会員への情報誌の配布

会報「河川文化」（平成10年4月創刊：年4回発行）は、「川における様々な文化」をテーマに全国各地からの情報を発信する個人会員向けの情報誌です。

会員への無料配布を行います。また、さらに内容の充実を目指します。

・平成26年「特集計画」

第66号	平成26年6月号	「川と橋」
第67号	9月号	「沖縄の川特集(仮)」
第68号	12月号	「越の国特集(仮)」
第69号	平成27年3月号	「未定」



(3) 河川関係諸団体の活動への支援・協力

河川に関する諸団体が行う公益的な活動に対して、支援・協力します。

○ ホームページによる情報交換と河川の情報提供

Web サイト「JAPANRIVER」は、利用者の意見交換や河川の情報提供の場として充実させ、コンテンツの拡充に努め利用者の増大を図ります。以下に、事業展開するホームページ上の掲載内容を示すとともに、新たに掲載する内容についても記述します。



トップページ

【日本河川協会 Web サイト URL <http://www.japanriver.or.jp/>】

- ・「川の広場&サークル活動」は、意見交換の場、各地サークルの活動報告及び活動予定の情報を提供する場としての活用を推進します。
- ・「川や水の活動団体紹介」は、既登録団体の情報を最新のものに更新するとともに、未登録団体への新規調査を行いデータベースの充実を図るとともに、全国で唯一の名簿として広く社会で利用されるように努めます。
- ・「日本水大賞等の受賞活動場所及び内容検索」は、情報を最新のものに更新するとともに、内容の充実を図り活用の増大を図ります。
- ・「川のリンク集」は、川や水に関する国、県、研究機関及び河川協会三種正会員等の関係機関に掲載を呼びかけ、リンク集の充実を図ります。
- ・「河川・水資源関連分野の英文資料集」は、日本の河川に関する英文パンフレット等を収集、編集、新たな資料を追加します。

【公益事業に関するホームページ情報リスト】

事業計画書（ホームページ掲載）からではなく、ホームページから容易に情報入手が可能な公益事業の情報内容の現状は、以下のとおりです。

今後、下記リストに掲げられていない公益事業やその情報内容について、順次、容易に入手できるようホームページの充実を図ります。

- ・河川文化を語る会：趣旨、講師名・講演概要他、講演集の収録内容 等
- ・地球温暖化適応策分野の資料集：日本河川協会では収集した最近の日欧米の文献
- ・雑誌「河川」：過去に刊行したすべての号に関する目次一覧 等
- ・流量年表等：趣旨、収録内容 等
- ・オーラルヒストリー調査：趣旨、資料名 等
- ・川や水の活動団体の調査：趣旨、活動団体の名称、対象河川、活動分野、活動報告 等
- ・「きれいな川と暮らそう基金」の助成：趣旨、応募様式他、助成決定先・助成内容 等
- ・セミナー（水防研修、河川管理研修、河川講習会）：講義内容 等
- ・日本水大賞・日本ストックホルム青少年水大賞：趣旨、受賞者、活動内容、受賞理由 等